



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月31日

上場取引所 東 札

上場会社名 株式会社 トーモク

コード番号 3946 URL <http://www.tomoku.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 斎藤 英男

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 内野 貢

TEL 03-3213-6811

四半期報告書提出予定日 平成25年2月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	103,777	5.7	3,605	1.0	4,014	3.1	2,105	△8.0
24年3月期第3四半期	98,203	1.1	3,569	△1.5	3,893	8.4	2,288	26.9

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 2,244百万円 (35.3%) 24年3月期第3四半期 1,659百万円 (48.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	22.51	—
24年3月期第3四半期	24.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	113,284	45,751	38.9
24年3月期	112,277	43,951	37.8

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 44,065百万円 24年3月期 42,418百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
25年3月期	—	3.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	150,000	8.0	8,000	16.7	7,900	11.0	4,100	5.1	43.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	96,707,842 株	24年3月期	96,707,842 株
25年3月期3Q	3,216,513 株	24年3月期	3,207,674 株
25年3月期3Q	93,497,106 株	24年3月期3Q	93,505,132 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しました。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した業績予想等の将来に関する記述は、当社が本資料の発表日現在において入手している情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年12月31日まで）における日本経済は、震災の復興需要など内需が牽引し緩やかに回復してまいりましたが、欧州の債務問題と米国や中国の景気の減速懸念、長期化する円高などの影響により、総じて弱含みで推移しました。

その中で当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は103,777百万円（前年同期比5.7%増）、経常利益は4,014百万円（前年同期比3.1%増）、四半期純利益は2,105百万円（前年同期比8.0%減）となりました。

セグメントの業績は次の通りです。

〔段ボール〕

段ボールの需要は、加工食品等食品向けや通販・宅配向けが伸びましたが、全体としては前年並みの水準で推移しました。

当社の主力工場である館林・小牧・大阪の各工場の生産能力の強化をはかるとともに省電力化対策として工場内照明のLED化や夏場の猛暑・節電対応にも生産シフトの変更等能動的に取り組んでまいりました。お客様の高度で多様化したニーズにお応えするために生産力の強化、品質面での一級品作りに引き続き取り組むとともに一昨年の震災で被災した仙台工場の業績の回復に努めました。また、当社グループの段ボール生産量は、大一コンテナが連結子会社として新たに加わり増加いたしました。この結果、売上高は61,532百万円（前年同期比7.7%増）となり、営業利益は5,325百万円（前年同期比21.1%増）となりました。

〔住宅〕

新設住宅着工戸数は東日本大震災の被災住宅の再建などの復興需要やフラット35Sの金利優遇措置が再導入されたこともあり前年同期比増加しました。当社グループの住宅着工戸数も増加しました。スウェーデンハウスの強みである高気密・高断熱による省エネ性能をアピールして販売に努めた結果、売上高は26,544百万円（前年同期比0.8%増）となり、損益面では広告宣伝費など営業費用が先行して発生したため、営業損失は2,096百万円（前年同期は営業損失1,248百万円）となりました。

〔運輸倉庫〕

運輸倉庫においては、夏場の猛暑により飲料分野を中心として取扱数量が増加しました。燃料価格が大きな変動もなく推移し、生産性の向上などに努めました。この結果、売上高は15,699百万円（前年同期比6.3%増）、営業利益は915百万円（前年同期比2.7%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

総資産は、現金及び預金が減少しましたが、たな卸資産の増加、受取手形及び売掛金の増加などにより、前連結会計年度末比1,007百万円増加し113,284百万円となりました。負債は、1年内返済予定の長期借入金の減少などにより前連結会計年度末比793百万円減少し、67,532百万円となりました。純資産は前連結会計年度末比1,800百万円増加し45,751百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想につきましては、平成24年5月7日に発表いたしました業績予想の達成に引き続き務めてまいりますので、これを変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ34百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,653	9,590
受取手形及び売掛金	25,030	27,583
たな卸資産	9,950	12,607
その他	4,775	5,081
貸倒引当金	△81	△44
流動資産合計	54,327	54,819
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	15,310	15,089
機械装置及び運搬具(純額)	11,578	11,351
土地	18,136	18,609
その他(純額)	1,268	1,597
有形固定資産合計	46,293	46,647
無形固定資産		
投資その他の資産	529	476
投資有価証券	7,131	7,308
その他	4,351	4,391
貸倒引当金	△355	△359
投資その他の資産合計	11,127	11,340
固定資産合計	57,949	58,465
資産合計	112,277	113,284

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,880	14,821
短期借入金	2,506	2,675
1年内返済予定の長期借入金	12,512	9,268
未払法人税等	1,840	1,094
賞与引当金	1,781	853
その他の引当金	377	306
その他	8,419	12,377
流動負債合計	42,319	41,397
固定負債		
長期借入金	18,158	18,069
退職給付引当金	2,669	2,873
その他の引当金	669	639
その他	4,508	4,552
固定負債合計	26,007	26,134
負債合計	68,326	67,532
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,669	13,669
資本剰余金	11,138	11,138
利益剰余金	18,174	19,718
自己株式	△664	△666
株主資本合計	42,318	43,860
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	271	314
繰延ヘッジ損益	216	186
為替換算調整勘定	△387	△295
その他の包括利益累計額合計	100	205
少数株主持分	1,532	1,685
純資産合計	43,951	45,751
負債純資産合計	112,277	113,284

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	98,203	103,777
売上原価	79,129	83,440
売上総利益	19,074	20,337
販売費及び一般管理費	15,505	16,731
営業利益	3,569	3,605
営業外収益		
受取利息及び配当金	192	147
持分法による投資利益	246	343
雑収入	449	384
営業外収益合計	888	875
営業外費用		
支払利息	404	305
雑損失	159	160
営業外費用合計	563	466
経常利益	3,893	4,014
特別利益		
段階取得に係る差益	—	82
保険差益	—	22
負ののれん発生益	50	—
投資有価証券売却益	20	—
特別利益合計	71	104
特別損失		
投資有価証券評価損	5	174
固定資産処分損	54	113
減損損失	53	19
災害による損失	33	—
その他	—	6
特別損失合計	147	313
税金等調整前四半期純利益	3,817	3,806
法人税、住民税及び事業税	1,666	2,059
法人税等調整額	△218	△381
法人税等合計	1,448	1,678
少数株主損益調整前四半期純利益	2,368	2,128
少数株主利益	79	23
四半期純利益	2,288	2,105

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,368	2,128
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△409	43
繰延ヘッジ損益	△144	△30
為替換算調整勘定	△154	101
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	2
その他の包括利益合計	△709	116
四半期包括利益	1,659	2,244
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,601	2,209
少数株主に係る四半期包括利益	57	34

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	段ボール	住宅	運輸倉庫	計		
売上高						
外部顧客への売上高	57,111	26,324	14,767	98,203	—	98,203
セグメント間の内部売上高 又は振替高	250	—	2,553	2,804	△2,804	—
計	57,362	26,324	17,321	101,007	△2,804	98,203
セグメント利益又は損失(△)	4,397	△1,248	940	4,090	△521	3,569

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△521百万円には、セグメント間取引消去35百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△557百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	段ボール	住宅	運輸倉庫	計		
売上高						
外部顧客への売上高	61,532	26,544	15,699	103,777	—	103,777
セグメント間の内部売上高 又は振替高	340	5	2,556	2,903	△2,903	—
計	61,873	26,550	18,256	106,680	△2,903	103,777
セグメント利益又は損失(△)	5,325	△2,096	915	4,144	△539	3,605

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△539百万円には、セグメント間取引消去34百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△574百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。